

一聞提人、阿含・華嚴・觀經・大日經等の小水の邊にては大罪の大熱さん(散)じがたし。法華經の大雪山の上に臥ぬれば五逆・誹謗・一聞提等の大熱忽に散ずべし。されば愚者は法華經を信ずべし。各各經々の題目は易き事同じといへども、愚者と智者との唱(フ)功德は天地雲泥なり。譬へば大綱は大力も切がたし。小力なれども小刀をもてたやすくこれをきる。譬へば堅石をば鈍刀をもてば大力も破がたし。利劍をもてば小力も破ぬべし。譬へば藥はしらねども服すれば病やみぬ。食は服ども病やまず。譬へば仙藥は命をのべ、凡藥は病をいやせども、命をのべず。疑云、二十八品の中に何か肝心。答云、或云、品々皆事に隨て肝心なり。或云、方便品・壽量品肝心なり。或云、方便品肝心なり。或云、品々皆事に隨て肝心なり。或云、開示・悟入肝心なり。或云、實相肝心なり。問云、汝が心如何。答、南無妙法蓮華經肝心なり。其證如何。答云、阿難・文殊等、如是我聞等云云。問曰、心如何。答云、阿難と文殊とは八年が間、此法華經の無量の義を一句一偈一字も残さず聽聞してありしが、佛の滅後に結集の時、九百九十九人の阿羅漢が筆を染てありしに、妙法蓮華經とかゝせて如是我聞と唱させ給しは、妙法蓮華經の五字は一部八卷二十八品の肝心にあらずや。されば過去の燈明佛の時より法

①人十(は)②各=々(一)③は十(行じ)④の=なれとも⑤譬へば=又⑥小刀=かたな⑦もてば\*=もては⑧=もつては⑨心十(なるや)⑩[或云]-⑪[品]-⑫[或云...なり]9字-⑬心=意⑭答十(云)⑮[答云]-⑯十⑰(まづはじめに)⑱妙⑲せて=せ給て次に⑳・せて十(次)㉑し十(か)

華經を講ぜし光宅寺の法雲法師は、如是者將傳トハ所聞ソノト前題ニ擧ル一部也等云云。靈山に

まのあたりきこしめしてありし天台大師は、如是者所聞ソノ法體也等云云。章安大師云フ

記者釋曰シテ蓋序王者敍經玄意シテ玄意述於文心等云云。此釋に文心者題目は法華經の

心也。妙樂大師云、收ル一代教法ヲ出ツ法華文心等云云。天竺は七十箇國なり。摠名は

月氏國。日本は六十箇國、摠名は日本國。月氏の名の内に七十箇國乃至人畜珍寶みな

あり。日本と申名の内に六十六箇國あり。出羽の羽も奥州の金も、乃至國の珍寶人畜

乃至寺塔も神社も、みな日本と申二字の名の内に攝セれり。天眼をもつては、日本と申

二字を見て、六十六國乃至人畜等をみるべし。法眼をもつては、人畜等の死シ此生ニ彼

をもみるべし。譬へば、人の聲をきいて體をしり、跡をみて大小をしる。蓮ハチをみて池

の大小を計リ、雨をみて龍の分齊をかんがう。これはみな一に一切の有ルことわりなり。

阿含經の題目には大旨オホ一切はあるやうなれども、但小釋迦一佛ニありて他佛なし。華

嚴經・觀經・大日經等には又一切有ルやうなれども、二乗を佛になすやうと久遠實成の釋

迦佛ニなし。例せば華ハさいて菓ノならず。雷イカなつて雨アメふらず。鼓ツあて音ネなし。眼メあて

物モノみず。女人メあて子コをうまず。人ヒトあて命イなし、又神カミなし。大日オホの眞言マコト・藥師ヤクシ眞言マコト・阿

①り+(に)②意+(經)③文心者=文意といふは④[題目は...云々]27字-⑤  
[は]-⑥本+(國)⑦[乃至...と申]22字-⑧大小=淺深⑨佛+(のみ)⑩な  
し=あかさす⑪い=ぎ⑫つ=り⑬あて\*=あつて⑭う=む⑮[の]-⑯